

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその実績

(単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業	74,783	64,835	86.69%
学術研究等助成事業	26,310	25,327	96.26%
資料館庭園運営管理事業	33,002	34,296	103.92%

(2) 直前3事業年度の財産および状況

(単位:千円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (当該事業年度)
経常収益	161,669	161,844	161,169
評価損益等調整前 当期経常増減額	△604	27,598	10,605
当期経常増減額	△570,896	542,270	△139,121
正味財産期末残高	3,680,963	4,318,135	4,153,095

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
①育英奨学事業	学生に対し奨学金の無利子貸与 奨学生集会を開催し学生の指導育成と相互交流
②学術研究等助成事業	大学等における学術の研究者に対して助成金を給付 自然環境保護活動を実施する団体に対しての助成金給付 当会の事業目的に合致する公益事業活動をする団体への助成
③資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営および一般公開 庭園・山林・遊歩道の整備と自然環境保全活動

(4) 従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	東京都 品川区大崎	首都圏の大学等への当会事業の周知 公益事業活動の助成対象団体の情報収集 金融情報収集

(5) 重要な契約に関する事項

契約年月日 (契約期間)	相手方	契約金額	契約の概要
平成 31 年 4 月 1 日 (5 年間)	EY 税理士法人	1 年間 1,320,000 円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

(6) 事務局に関する事項

職名等	氏 名	就職年月日	担当事務
事務局長	原 久晴	昭和 61. 4. 7	事務局総轄
事業部長	荒井 能弘	平成 22. 9. 1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	中沢 高則	令和 2. 11. 1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2. 4. 1	資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13. 2. 20	建物内管理・事務所庶務

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 3. 6. 1	令和 2 年度事業報告・計算書類等承認について	可決
〃	第 10 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	令和 3 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	令和 3 年度学術研究助成について	可決
〃	令和 3 年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承
令和 4. 3. 24	令和 3 年度学術研究助成事業(その他助成)について	可決
〃	「建物建設積立資金規程(資材用倉庫)」の制定について	可決
〃	令和 4 年度事業計画の承認について	可決
〃	令和 4 年度予算の承認について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 3. 6. 29	令和 2 年度事業報告の内容報告について	了承
〃	令和 2 年度の計算書類等の承認について	可決
〃	「役員および評議員の報酬ならびに費用に関する規程」の一部変更について	可決
〃	理事の任期満了に伴う選任について	可決
〃	監事の任期満了に伴う選任について	可決

(8) 株式の保有状況

企業名	保有株式数	保有割合	企業との関係
ENEOS ホルディングス株	3, 910, 000 株	0. 121%	取引なし
北越メタル株	55, 600 株	1. 392%	取引なし
住友商事株	30, 000 株	0. 002%	取引なし

## 2 役員等に関する事項

### (1) 理 事

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	備 考
理事長	山口敬太郎	2年	常 勤	規程による	
常務理事	原 久晴	2年	〃	〃	事務局長
理 事	森地 茂	2年	非常勤	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	
〃	一色 誠一	2年	〃	〃	
〃	田波 耕治	2年	〃	〃	

### (2) 監 事

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	備 考
監 事	高橋 實	2年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	2年	〃	〃	

### (3) 評議員

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	備 考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	大田 勝幸	4年	〃	〃	
〃	山崎 正	4年	〃	〃	
〃	高橋 讓	4年	〃	〃	
〃	青柳 隆広	4年	〃	〃	

### (4) 役員等の報酬

区 分	人 数	報酬等の総額	備 考
理 事	6名	20,501千円	
監 事	2	134	
評議員	7	111	
合 計	15	20,746	

## 事業報告の附属明細書

### I 事業に関する記載事項

#### 1 育英奨学事業について

##### (1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計(名)	奨学金貸与額 (千円)	奨学金返還免除額 (千円)
大学院生	4	6	10	4,850	850
大学生	69	22	91	54,450	12,800
短大生	1	0	1	600	150
高専生	0	1	1	600	150
留学生	14	4	18	7,750	1,650
合 計	89	32	121	68,250	15,600

##### (2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者 (名)	返還額 (千円)
大学院生	33	4,928
大学生	151	38,309
短大生	0	0
高専生	3	345
高校生	6	441
留学生	36	5,738
合 計	229	49,761

##### (3) 奨学生集会

人数を制限するため、8月25日～26日と9月1日～2日の2回に分けて、それぞれ1泊2日で開催する予定で案内したが、コロナ禍が収まらなかったため開催を断念した。

なお奨学生には集会参加に伴う奨学金返還免除の特典を付与するために作文の提出を求め、集会参加または不参加の意思表示をして作文を提出した者には2か月分、作文を提出しなかった者には1か月分の返還免除を行った。これにより2か月分返還免除対象者は94名、1か月分返還免除対象者は13名であった。

(4) その他

機関誌「山びこ」54号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

2 学術研究等助成事業について

(1) 学術研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 15,396,880 円の助成金を交付した。

- ① 東京大学 宇宙線研究所 助教 牛場 崇文  
研究題目 大型低温重力波検出器 KAGRA における低温鏡懸架装置の姿勢制御の低雑音化
- ② 東京大学 生産技術研究所 特任助教 久保田 愛  
研究題目 持続的な都市環境を作る上での住民同士の相互作用の影響と活用についての研究
- ③ 東京大学 大学院農学生命科学研究科 助教 高梨 秀樹  
研究題目 ソルガム新奇優性双子化遺伝子の同定とその応用展開に向けて
- ④ 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 助教 飯岡 英和  
研究題目 転移制御因子 Crumbs3 によって分泌制御を受ける可溶性転移促進タンパク質の同定
- ⑤ 長岡工業高等専門学校 助教 田村 文裕  
研究題目 レーザーイオン加速のための低リプル高電圧パルス試験用電源開発
- ⑥ 長岡工業高等専門学校 物質工学科 助教 熱海 良輔  
研究題目 反応器設計を目的とした化学反応速度式サロゲート AI の開発
- ⑦ 山形大学 大学院理工学研究科 助教 松村 吉将  
研究題目 ロック&キー有機レドックスと有機触媒による電力貯蔵
- ⑧ 東北大学 加齢医学研究所 分子腫瘍学研究分野 助教 家村 顕自  
研究題目 細胞の老化に伴って引き起こされる染色体不安定性誘導機構の解明

- ⑨ 東北大学 多元物質科学研究所 助教 武田 貴志  
研究題目 ダイナミックな水素結合有機構造体の創製と機能開発
- ⑩ 秋田大学 大学院理工学研究科 講師 肖 英紀  
研究題目 次世代磁気メモリ開発に向けた置換サイト制御による室温磁気スキルミオン材料のバラエティ開拓
- ⑪ 新潟大学 工学部 准教授 三俣 哲  
研究題目 細胞培養に特化した磁性エラストマーの開発と細胞の増殖や分化挙動と基板の柔らかさの相関
- ⑫ 新潟大学 工学部 准教授 大嶋 拓也  
研究題目 環境騒音伝搬予測のための土の流れ抵抗モデルの構築に関する研究
- ⑬ 新潟大学 工学部 電子情報通信プログラム 准教授 城内 紗千子  
研究題目 実用化に向けた IoT センサーの有機デバイスの作製方法の提案と開発
- ⑭ 富山大学 学術研究部 工学系 助教 岡田 卓哉  
研究題目 栄養飢餓選択的毒性を示す膵がん治療薬候補化合物の創製
- ⑮ 信州大学 農学部 助教 高谷 智英  
研究題目 筋形成型オリゴ DNA の抗炎症作用の研究
- ⑯ 信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 助教 岩本 憲泰  
研究題目 座位条件下での入眠時に生じる頭部上下揺動の力学モデル構築
- ⑰ 長岡技術科学大学 准教授 福元 豊  
研究題目 土構造物の老朽化の要因となる内部侵食現象の微視スケールからの理解
- ⑱ 長岡技術科学大学 物質材料工学専攻 助教 小松 啓志  
研究題目 新しい病変診断技術を指向した紫外発光素子の開発
- ⑲ 福島大学 共生システム理工学類 教授 杉森 大助  
研究題目 ニトリルゴム分解酵素遺伝子の解明とその応用

- ⑳ 新潟県立十日町高等学校 生物部  
研究題目 十日町市におけるキタノメダカの分布調査と観賞魚メダカとの交雑状況
- (2) 自然環境保護活動助成  
自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、  
総額 5,050,000 円の助成金を交付した。
- ① 千谷沢集落 千谷沢集落活性化委員会 西国三十三番霊場の環境整備部会  
活動名 西国三十三番霊場の整備と景観づくり
- ② 小千谷市の棚田を守る会  
活動名 棚田内の田圃、また周辺自然水棲生物の維持をスムーズに行うため
- ③ NPO 新潟県山野草をたずねる会  
活動名 いのちの森づくりーぬか山育樹
- ④ 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団  
活動名 わたしの学校にもサイエンス・サーカスがやってきた  
(中山間地の小規模校や離島の子供達、及び障がい者や高齢者を対象とした出  
前型環境教育・科学技術理解促進活動)
- ⑤ 下村振興協議会  
活動名 下村～八石遊歩道（登山道）の補修・整備及び遊歩道周辺の山野草の群生地の保  
全活動
- ⑥ 長岡市立小国小学校  
活動名 守ろう僕たちの小国町！つなごう僕たちの思い！
- ⑦ あじさい塾  
活動名 里山再生事業
- ⑧ 長岡工業高等専門学校  
活動名 未利用資源を活かした自然保護～長岡モデルの構築～



- ⑨ ECO village SHELTER project  
活動名 年間を通じた里山整備活動と森の中のエコビレッジづくり
  
- ⑩ 特定非営利活動法人 新潟水辺の会  
活動名 潟ジュニアリーダー育成プロジェクト
  
- ⑪ 自然栽培新潟研究会  
活動名 里山と食卓をつなげる食育プロジェクト
  
- ⑫ 長岡市立小国小学校  
活動名 僕らの町を守りたい～おぐに防災プロジェクト～
  
- (3) その他助成  
学術研究等助成事業の「その他助成」として 3,600,000 円を交付した。
  - ① 公益社団法人日本女子プロ将棋協会
  - ② 公益財団法人日本ユースリーダー協会
  - ③ 公益財団法人日本ナショナルトラスト
  - ④ 国際大学 (IUJ)
  
- (4) 学術研究助成報告会の開催  
9月に「学術研究助成報告会」を開催し、令和2年度に助成金を交付した研究者20名のうち参加を依頼した5名が、研究の経過や成果について報告を行った。
  
- (5) 自然環境保護活動報告会の開催  
10月に「自然環境保護活動報告会」を開催し、令和2年度に助成金を交付した12団体のうち7団体が参加して、活動の成果について報告を行った。

### 3 資料館庭園運営管理事業について

- (1) 当会の資料館および庭園・山林を4月中旬から11月下旬まで一般公開し見学者を受け入れた。ガイド2名を交替で配置し案内や解説を行って見学者の便に供している。見学者は年間744名であった。
- (2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら、植物、野鳥、きのこなどを観察する会を春秋4回開催した。小国生物友の会、長岡野鳥の会、長岡きのこ同好会の協力を得て実施し合計73名の参加者があった。
- (3) 見学者憩いの場としての「東屋」周辺の芝貼りを行った。
- (4) 庭園内の景観を整えるため、立木や雑木の伐採を行った。
- (5) 資料館施設「観音堂」が老朽化したため解体し、見学者が観音像を良い環境で鑑賞できるように建替えた。
- (6) 資料館3棟の外壁の「なまこ壁」の改修工事を行った。